

巻頭言
Greeting

×

赤坂 泉
Izumi Akasaka
聖書宣教会 校長

Profile

1959年生まれ。三重県伊勢市での16年余の教会奉仕を経て、2003年度より聖書神学舎専任教師として奉職し、2017年度から聖書宣教会・聖書神学舎の主任牧師・校長となる。



「一つになって、御名をあげよう」

私はあらゆるときに 主をほめたたえる。
私の口には いつも主への賛美がある。
私のたましいは主を誇る。
貧しい者はそれを聞いて喜ぶ。
私とともに主をほめよ。
一つになって 御名をあげよう。

(詩篇 34:1-3)

状況の如何に関わらず、主に向かい、主をほめたたえる。このダビデの姿勢は私たちの良い手本です。

あらゆるときに、いつも、と述べるダビデのこの時の境遇は標題の通りです。不当な困難に追われ、極めて危険な状況で綱渡りで生きています。そのただ中で生まれたこの詩は、冒頭から主への賛美を告白し、いろは歌のようにして4節以下にも、主を求める、主を仰ぎ見る、呼ぶ、と続きます。ともかく主を見上げる。そして、主への信頼を固くし、主を誇り、主を賛美します。これが主に選ばれ、主に用いられたダビデの信仰です。

私たちが予想しなかった様々な困難に直面するものです。コロナ禍のことだけではありません。苦難や不当な圧迫、痛みや貧しさは、地上からは無くなりませんから。その時に、私たちは何に目を向けるのでしょうか。近視眼的に騒ぎ立て、不安や怒りや自己憐憫を溜め込むのではなく、主に身を避け、主を見上げることに私たちは招かれています。「味わい 見つめよ。主がいつくしみ深い方であることを」(8節)。そして、生きて働く主のみわざを目撃し、体験し、また主への賛美を口にあふれさせましょう。そのように視線や心を整えることが自分ひとりでは難しく感じられる時には、主にある交わりに助けを求めましょう。励ま

し合ってこの姿勢を整え、共に主に向かい、主を礼拝しましょう。状況に関わらず、ともかく主をほめたたえることを学びましょう。

困難は個人を揺さぶるだけでなく、時として神の民を混乱させます。事態をどう評価するか、どのような対処が望ましいか多様な立場が交錯して、一致がかき乱されることがあります。しかし、ともかく主を見上げ、ともかく主を賛美することに招かれていることを覚えて、そこに立つことが大切です。そうすると、おのずと皆が同じ方向を向いていることになり、神へと向かう一致を得るでしょう。コロナ対応の主日の礼拝の整え方も然り。教会の交わりの持ち方、宣教の方法論、財政など、課題は様々です。地域社会の、また日本の、そして近隣諸国や世界の、と視野を広げて諸々の課題を知らされて祈るほどに心が重くなることも多いことです。人間の考えや、ましてや感情は様々です。多様性は大切にしましょう。同時に、方向性における一致を追い求めましょう。神の民は、いつも主の前に立ち、主に向かって目を上げます。そうして共に主の御名をあげることへと導かれます。結果、そこに一致の恵みを発見することになるでしょう。

各個教会の歩みに、教会間の交わりに、教派間の協力に一致をいただき、「一つになって、御名をあげよう」ではありませんか。

No.184 Topics

- p03 新入会生
- p04-06 2020年度卒業生
- p07 学びの窓
- p08 聖書学研究所から、決算 / 予算

伊藤 暢人

Nobuhito Ito

聖書神学舎 教務主任

弟子たちは主を見て喜んだ。

(ヨハネ 20:20)

卒業式・入会式

外からの出席をお断りして学内行事として行った昨年に比べれば、今年はお招きできる数を限定してではあれ(卒業生1人につき、配偶者を除いてゲスト2人まで)、一人ひとりをこれまで支えてくださった方々のお顔が見えての卒業式を行えたことは、大きな感謝と喜びでした。加えて、オンライン配信したことにより遠隔地の方々や定員の枠内に入れなかった方々も出席していただき、共に祈りの結実を確認したり、新たに学舎を知る機会になったことも幸いでした。

同じような定員の枠組みで入会式も行い、本科7名、聖書科1名の入会生を新たに迎えました。入会式でなるほどと思われたのは、記念写真のとき。新入会生を中心に据えた全体写真1枚に加えて、2年生を中心にした1枚を撮影しました。昨年は簡易な入会式だったので、記念撮影がなかったからです。皆さんのお手元に届く祈りのポスターはその写真で製作したものです。2年度分の新入生を覚えてお祈りくださいませ。

春はチャペルで新入生の証しが続きます。上級生や教職員にとっても、人を呼び出す主のみわざをあげ、また原点に立ち返らされて、一方的な恵みを確認するときです。

昼食風景

席間隔をあけていた食卓では、今年に入ってから食事の時間は「黙食」を励行しています。話すときはマスク着用、食べるときは喋りたい欲求をぐっと我慢する。食事中、カチャカチャと食器の音だけが響くことに最初は違和感を覚えました

が、徐々に慣れてくるものです。何よりも、これがコロナ禍で共同生活を続けていく唯一の方策です。食べ終わったら、さっとマスクを付けてお話し可。黙っている間に、隣の人と何を話そうかと考えます。意図的な会話をできるチャンスにもなります。次の願いは、チャペル後のコーヒータイムの復活。

夏に向けて

今年の「祈りの日」は、前期に久利英二師、後期中村敏師を迎えます。また、特別講義は3年ぶりに松本任弘師がご奉仕くださいます。「教会音楽のひととき」は録画したものをオンライン配信できるように準備を進めています。昨年は中止してしまった夏期研修講座もオンラインで開催、また昨年は規模を縮小した教会音楽夏期講習会はオンラインで行う計画です。各行事が研修生のために、あるいは卒業生や諸教会のために用いられることを切に願っています。

イエスを見て喜ぶ

冒頭のみことばで、よみがえられた主イエスは手と脇腹を見せて、確かにご自身であることを示されました。時に神学を学びながらもイエスを見失うことがあるかもしれません。教会の働きにおいてさえ、人が中心になることがあります。しかしイエスが見えなくなると、人の心は不安になり、反対に、イエスを確認するところに喜びがあります。いつの時代も、どのようなわざわいの下にあっても、研修生たちがどうしても得なければならないことを学舎で身に着けることができますように、お祈りください。学舎でも皆さんのことを覚えてお祈りしています。



02 新入会生 New Students

左から、田中、竹内、入月、石橋、昼田、阿部、寺村、蛭沼

氏名	出身教会	奉仕教会
聖書神学舎本科 [7名]		
阿部 祐	日本福音キリスト教会連合	十日市場めぐみキリスト教会
石橋 美由紀	日本バプテスト連盟	昭島めぐみ教会
竹内 基喜	日本福音キリスト教会連合	湘南キリスト教会
田中 甲子郎	日本バプテスト教会連合	玉川キリスト教会
寺村 幸雄	日本福音自由教会協議会	立川福音自由教会
昼田 理江	日本聖約キリスト教団	東大宮福音自由教会
蛭沼 拓也 (休会中)	日本福音自由教会協議会	東京武蔵野福音自由教会
聖書神学舎聖書科 [1名]		
[聖書専攻]		
入月 かおる	日本福音キリスト教会連合	峡南キリスト教会

主の招きなしには

阿部 祐

私がはじめてイエス様の宣教の働きに深く関わりたいと思ったのは19歳のときです。ある婦人の洗礼式に立ち会った時、ひとりの人がイエス様に会い、人生が変えられることに、また永遠のいのちという希望の素晴らしさに感動しました。献身することを考えたこともないあの私が、ほとんど知らない婦人の洗礼式に深く感動したことに驚きました。

それから2年後、「ペテロが答えて言った。『主よ。もし、あなたでしたら、私に、水の上を歩いてここまで来い、とお命じになってください。』イエスは『来なさい』と言われた」(マタイ 14:28,29)の箇所から、心の奥で抱いていた「イエス様に呼んでいただきたい」という自分の思いがペテロの言葉と重なりました。そして「来なさい」という主の招きに応えようと、神学校への道を決意しました。

そこからの8年間、私が様々なことに揺れ動いてしまっても、主は私をここまで導いてくださいました。主の御名をほめたたえます。

主が成し遂げてくださる

昼田 理江

入会試験を受けると決めたのは、昨年11月でした。献身の思いが与えられたと同時に、聖書についてもっと深く学ぶ必要があると感じただけからです。試験まで3ヶ月を切っており十分な備えができるのか不安でしたが、みこころであれば必ず道は開かれると信じ、母教会の許可を得、前に進むこととなりました。

ここからは、一つひとつの判断において信仰が試されたように思います。ノンクリスチャンへの父への進路報告、試験の合否や健康診断の結果が出る前の退職、コロナ禍での岡山からの上京など、今まで私に安定や保証を与えてくれていたものをひとつずつ手放し、主に自分を委ねていく大切な過程を通して頂きました。

その結果、主は本当に真実な方で、私は誰からも反対されずかえって励ましを受け、必要が満たされ、健康な状態で入会が許されました。恵み深い主の御名をほめたたえます。これから先も、どんな困難や不安の中でも主に信頼する歩みでありたいと願います。



03 2020年度卒業生 New Graduates

左から、小山、吉田(知)、金、長澤、吉田(真)、重田、岡村、國分、木下

氏名	出身教会	奉仕先
聖書神学舎本科 [8名]		
おかもら けん 岡村 建	川口福音自由教会	日本福音自由教会協議会
きのした なつこ 木下 奈津子	ほうその 祝園チャペル	日本福音自由教会協議会
きむ じゅひん 金 在賢	ちよんやん 清涼教会	日本福音自由教会協議会
こくぶ ちから 國分 力	足立キリスト教会	日本福音キリスト教会連合
しげた たけし 重田 岳史	はだのしおん 秦野詩音キリスト教会	日本福音キリスト教会連合
よしだ しんたろう 吉田 真太郎	仙台福音自由教会	日本福音自由教会協議会
ながさわ かずひろ 長澤 和裕	佐倉福音キリスト教会	日本福音キリスト教会連合
よしだ とも基 吉田 知基	グレース宣教会 にじょう 二上チャペル	日本福音自由教会協議会
		藤沢福音自由教会
		おおほる 大治福音自由教会
		しののい 長野篠ノ井福音自由教会
		永福南キリスト教会
		相模原福音キリスト教会
		流山福音自由教会
		鹿島福音キリスト教会
		グレース宣教会
聖書神学舎聖書科 [1名]		
[聖書専攻]		
おやま みのる 小山 稔	小倉聖書教会	単立 小倉聖書教会

あなたはキリストです

岡村 建

私にとって聖書神学舎での4年間の学びは、「あなたはキリストです」(マルコ8:29)との告白を内実の伴ったものとして献げさせていただくために与えられたものでした。いま4年間を振り返り、自らのこの告白を果たしてそのようにお献げし、主の後に徹底して従って来ただろうかと悔い改めさせられます。主イエスについて理解しなければならぬことも理解できず、いや、理解しようともせず、思わぬ試練に遭ったり、あるいは思惑通りにならないようなことがあれば聖書のことばに聴くよりも自身の願いを祈り、主をいさめる。そうした自身の罪にもがき続ける4年間でした。

しかし、あわれみ深い主はこんな者の鈍き目を開かせようと、「わたしの後ろに下がりなさい」(同33)と何度も語り、ご自身のみことばに聴くことの大切さを教え続けてくださいました。このお方の後に生涯従い続ける者でありたいと思わされます。

神様の恵みとあわれみによって **吉田 知基**

卒業まで導いてくださった主に心から感謝いたします。またこの者のために祈り、ご指導くださった先生方や研修生の皆様、そして母教会の牧師先生や兄弟姉妹おひとりおひとりに心から感謝しています。

私にとって、この3年間のみことばに生き、実践するために必要な学びと訓練の時となりました。今の私があるのは、ただただ神様の恵みとあわれみによるものであると実感しています。日々の課題や奉仕などに追われる中で、ある時は、卒業は無理かもしれないと感じることがありました。しかし神様はいつも不思議な方法で導き、助けてくださいました。そして、その度に自分の力でなんとかしようとしていたことに気づかされ、神様に拠り頼むことを教えられてきました。

これから牧会の現場に遣わされていく者として、いつも主のみことばに拠り頼み、神を愛し、人を愛して、教会に仕えていきたいと思えます。

聖書信仰から日本宣教の鍵の幻を見る **金 在賢**

「日本宣教と教会に、ほんの少しでも役に立ちたい…」8年前、日本に派遣されてから、心の中で祈り続けてきた涙の叫びです。入会する前「実践神学だけで十分である」という宣教団体の半強制的(?)な教えにより、神学を学ばずに10年間現場で働いてきました。多くの宣教訓練や弟子訓練のプログラムを受け、キャンパスで伝道し、所属している共同体にも、みことばを伝えました。しかし、私はいつも霊的な知識に飢え渴いていました。

神学をする中で、私はいかに知識が乏しかったのかという事に、何度も直面させて頂きました。日本語の乏しさは言うまでもありません。4年間の学びを経て、やっと学び続ける準備ができた今、私は日本宣教の鍵の幻が少し見えてきました。それは揺るがない、霊的な飢え渴きもない、主のみことばの土台です。聖書信仰の土台に日本宣教の鍵がある。このみことばの土台の上で、日本の牧会者として自分を献げたいと切に願っています。

研修はこれからも続く **重田 岳史**

4年間の学びでは、聖書釈義の仕方をたくさん教えていただきました。おお、それらしく説教が準備できるようになってきたぞ、と喜んでいただけの間、最近では、準備の際に思考が「行き止まりにぶつかる」感じがしていました。もう少し語るべき深みがある気がするのに、それを掘り起こす思想がまとまらない。腑に落ちる言葉が出てこない。それを釈義力、語彙力、神学知識の不足によるものと考えていたのですが、もちろんそれもあるのですが、牧会学の最後の課題でE・M・バウンズの「祈りによる力」(羽鳥純二訳、いのちのことば社、1972年)を読んで、これは祈りの不足によるものなのではないかと気づかされました。形としての研修生活は一区切りですが、説教者としての研修は生涯続くのだなあ、と感じています。

主のあわれみによって、そして多くの方の祈りと具体的なサポートに支えられて、卒業を迎えることができました。ありがとうございました。

3年間、主のみことばの真実の中で **小山 稔**

間違っていることに気づかせてくれる御霊の働き。間違っていないという間違った確信を持ち続ける愚かさ、高ぶり。だれから言われるわけでもなく教えられる幸い。課題のレポート、字の間違い、話すことばの間違い、発表、説教。訂正できない疲れ。大切なことが消えていく空しさ。覚えることが定着しない無念さ。それゆえ人一倍の繰り返しを必要とする学び。工夫を必要とする生活、訓練。祈りを必要とする学びと奉仕。十分にできないもどかさ。学友、恩師の助け、配慮と指導。自らが不十分なものであることを知らされる恵み。謙遜の必要。忍耐と自重。しかし、乗り越えるべき断絶、打ちこわすべき暗やみの現実。導き、成し遂げ、執り成してくださる主の愛と御霊の力。憐れみのみことばを受け入れ、伝えるための御霊の力。求め続けて間違いのない主のみことばの真実。

主が与えてくださった間違いのない善きものすべてが、主のために用いられるように、感謝!

卒業のあかし

長澤 和裕

「あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる」(詩篇 37 : 5)のみことばは、真実でした。

入会後の学びは、予想していたこととはいえ、私にとって試練の時でした。特に語学の学びは、短時間で覚えることが多く、困難でした。学びで心が折れそうになった時、支えてくれたのが、主のみことばと先生方や事務の方々、研修生皆さんのお祈りでした。主のあわれみと皆様のお祈りに支えられて、卒業まで来ることができました。

また、私を送り出してくださった教会の皆様、また奉仕教会の皆様には、ご指導やお祈りしていただき、感謝いたします。

聖書神学舎で学んだ「みことばに聴くことの大切さ」をもとに、祈りながら、新しく遣わされた場所で、主のご栄光を現していきたいと思います。最後に、家族の祈りと協力によって、支えられてきたことに感謝いたします。

4年間の恵み

木下 奈津子

多くの祈りに支えられ、ここまでの学びが守られたことを主に感謝します。

私は、入会した当初は聖書科(2年課程)を選択していました。短くともしっかりと学び、卒業して主に仕えようと考えていました。しかし、学び始めると気付かされることは、どれだけ学んでも足りないという事実です。将来の働きを祈る中でも、備えることの大切さに気付かされました。本科編入を希望し、4年間の学びを許されたことは本当に恵みでした。この4年間は、道具を手に取り、使い方を学ぶ期間だったと感じています。これから、遣わされていく所で、実際に使ってみて、驚いたり、感動したり、わからないことも出てくるのだと思います。そんな時には、ここで与えられた交わりを生かして、何より、主に助けを頂きつつ歩ませて頂きたいと願っています。

この4年間の祈りによって支えてくださった皆さまに心から感謝します。

無に等しい者を

國分 力

四年間の研修生活の中で、自分の弱さや至らなさを思い知り「私のような者が、果たしてこの場所において良いのか」と何度も自問しました。しかし、その度に主は、私を召しの原点に立ち返らせてくださいました。「しかし神は、知恵ある者を恥じ入らせるために、この世の愚かな者を選び、強い者を恥じ入らせるために、この世の弱い者を選ばれました。有るものを無いものとするために、この世の取るに足りない者や見下されている者、すなわち無に等しい者を神は選ばれたのです。」(1コリント 1 : 27,28)

主は、私が無に等しい者であることをご存知でありながらも、そんな私を選んでくださいました。そして、私が無に等しい者であるからこそ、この者を通して御力を表してくださいなのです。これから先も、主がこの無に等しい者をご自身の栄光のために用いてくださるようにと祈ります。

これまで、私のために祈り支えてくださった全ての方に心から感謝いたします。

思うところをはるかに超えて

吉田 真太郎

詩篇 37 篇 5 節「あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる」のみことばを握りしめて宣教会へ入会したはずでしたが、実際に握りしめていたのは自分の願いばかりでした。振り返ってみると、信頼すること、ゆだねることの何と乏しい4年間であったことかと思わされます。

様々なことが願ったようにはならない、思うように進まない、そんなことの連続でした。しかし、思い通りにいかないそのときにこそ、思いがけない助けがあり、そして思いがけない導きを主は与えてくださいました。

教会に遣わされようとしている今、「献身」とは何かをあらためて教えられています。私たちが願うところ、思うところのすべてをはるかに超えて行うことのできる方に、全き信頼をもってお従いすることができるように祈り求めてまいります。

皆様からの、これまでの多くのお祈りと励ましを感謝します。引き続きお祈りに覚えていただければ幸いです。

人名研究の面白さ(3)
- ハイブリッド・タイプ -

鞭木 由行
Yoshiyuki Muchiki
聖書神学舎 特任教師

古代オリエントの人名は、殆どの場合、自分たちが崇める神の名前を伴っています。従って人名が分かると、そこに現れる神名からその民族名も分かることとなります。イスラエル社会の場合では、ですから「ヤーウェ(主 YHWH)」か「エル(神'L)」のどちらかが人名の中に現れることとなります。例えばヤーウェであればイザヤ、エレミヤ等に見られる語末の「ヤ」は殆どの場合「ヤーウェ」の省略形です。もちろん人名の冒頭に来ることもあり、その場合にはエホアハズ(「ヤーウェが掴んだ」)やエホヤキム等々となります。この場合には、カタカナ表記されるとヤーウェがどこにあるのか見分けにくくなりますが「エホ」がヤーウェに相当しています。またエルであれば、エゼキエル(「エルが強めてくださるように」)やダニエルがありますが、これもまた名前の冒頭に来ることもあり、その場合にはエルヤキム、エルカナなどとなります。

預言者エリヤは、両方の神名からできていて、意味は「ヤーウェはわが神」となります。これも語末の「ヤ」は短縮形で、正式には「エリヤフ」となります。実はエリヤもエリヤフも両方旧約聖書に登場しますが、読者にとって煩雑になるため翻訳上ではエリヤに統一されています。さらに聖書には全然神名の伴っていない名前も出てきますが、その場合には神名が省略されていると考えて良いでしょう。例えばモーセやハガイはその良い例でしょう。

ところで、このように人名が神名をもっていることで、面白い現象が見られます。それがハイブリッド・タイプの名前です。エジプトを脱出した当時のイスラエル民族の中には、エジプト

的な名前を持った人々が散見されます。特に注目をすべきことは祭司アロンの家系に多いことです。例えばアロンの息子エルアザルはプティエルという女性を娶り、二人の間にピネハスが誕生しました(出エ6:25)。このアロンの孫になるピネハスはエジプトの人名でその意味は「パ・ネフスイ(ヌビア人)」です。この場合おそらく色黒だったので「黒ちゃん」のような意味だったのでしょうか。でもなぜこのようなエジプトの名前が与えられたのでしょうか。その理由は母にあります。エルアザルがめとったプティエルという女性は、元々エジプト人の女性であったのです。なぜなら彼女の名前は典型的なエジプト名だからです。その構造は「プ(定冠詞)+ティ(与えた)+エル(神名)」となっています。これは日本で言えば、田中さんや中村さんのように頻出するエジプトの人名です。ただ違いは、神名がエジプトの神ではなく、イスラエルの神エルが使われていることです。このように名前のタイプはエジプトですが、エジプトの神ではない神名(ここではエル)が用いられているので「ハイブリッド・タイプ」と呼ばれているのです。この場合おそらくエルアザルの妻プティエルはエジプトの神々を捨てて、唯一の神エルを信じるという宗教的回心をしたことを示しているのでしょうか。さらにパレスチナで見つかったアンフォラ(取っ手付きの壺)にはプティヤ(フ)というヤーウェを伴ったハイブリッドの人名も発見されています。彼もエジプトから来てイスラエルで宗教的回心をしたのかも知れません。

○ コロナ禍の中での研究

津村 俊夫

Toshio Tsumura
聖書学研究所 所長

研究所の活動もいよいよ2年目に入ります。会員(博士課程)一人、準会員(修士課程)一人で始まった初年度でしたが、今年度に新たに会員一人を受け入れることになりました。永らく聖書翻訳の宣教師として海外で奉仕してきた方ですが、翻訳理論を踏まえ、旧約聖書の小預言書マラキ書のヘブル語本文を集中的に研究することになります。

一般に、人文系の研究者は、理科系の研究者が実験室によってつながっているのとは違い、一人で「たこつぼ」に入って研究に打ち込むこともできます。しかし、オンラインでも、対面でも、お互いに研究課題について話し合う時に、思いもかけないアイデアが与えられたり、問題意識を共有したりすることがあります。

コロナ禍の中で、世界の学者や研究者が、今まで以上にオンラインで積極的につながるようになっていきます。必要な情報が「必要な時に」得られることを祈り求めながら研究を進めるとき、「生きて働いておられる」知恵の神が、志を同じくする地球の裏の研究者を通して「折りにかかった」助けを与えて下さるといことは、私たちがしばしば経験することです。

聖書の研究は、「時が良くても悪くても」続けられなければなりません。それは、あらゆる時代に神のみことばが正しく理解され、それによって生きる信仰者に大きな励ましが与えられるためです。三人の会員・準会員の研究のために、また月例研究会が有効に用いられるようお祈りください。

○ 2020 年度収支決算概要 / 2021 年度収支予算概要

単位/千円

収入の部	2020年度予算	2021年度決算	2021年度予算
維持献金	28,500	28,214	28,500
指定献金(研修生)	20,000	20,707	20,000
特別指定献金	8,800	18,438	8,800
その他収入	10,050	14,360	11,510
収入の部合計	67,350	81,719	68,810
支出の部			
活動費	5,920	3,804	5,920
管理費	11,686	9,769	12,450
人件費	32,024	31,413	31,304
聖書学研究所	3,440	1,577	2,800
その他支出	14,280	35,031	16,336
支出の部合計	67,350	81,594	68,810
収支差額	0	125	0

恵みに富む主の御名を賛美します。

2020年度はコロナ対応で諸教会でもご苦勞が多かったことと思います。対応を重ねた学舎の働きも主に守っていただきました。財務の面では、皆様の変わらぬ熱い祈りと献金をもって支えていただき、奨学金等への多額の指定献金も多くお預かりして、心から感謝しております。主の召しに応答した研修生たちが御用に間に合う器として全人格的に錬られるよう、学びと訓練に専念できるように、主がすべての必要を満たして下さることを信じます。引き続きのご支援をどうぞよろしく願いいたします。

諸教会、皆様の祝福を一同でお祈りしています。

(聖書宣教会財務)